令和元年度　学校版環境ISOへの取組　概要報告

管内	市町村	学校名
熊本	熊本市	熊本市立出水南中学校

【はじめに】

出水南中学校は、出水中学校と湖東中学校の分離独立校として、熊本市民の憩いの場として有名な江津湖の西に、昭和５８年４月に開校した。

校区は自然環境に恵まれ、東は清らかな伏流水が湧く江津湖があり、南と西には今も広々とした田園が広がっている。西は通称浜線バイパスと呼ばれる幹線道路だが、北は静かな住宅地になっている。

本校の研究テーマ「教育活動全体を通じて行う、自他を大切にし、思いやりの心をもつ生徒の育成」～各教科等の授業に「出南タイム」（協同的学習）を位置づけて～　に沿った取組をしている。

「出南タイム」について

「出南タイム」（協同的学習）は、「思いやりに支えられた、協力的な雰囲気の中で繰り広げられる学び合い」である。本時では、生徒たち全員の感想をもとに授業を行うことで、それぞれの価値観に触れる事からスタートする。そして、ペア・班・全体と意見交流する場面を設け、みんなの力を合わせて意見を深めていくよう授業展開していく。

1　宣言

出水南中学校版　環境ISO宣言

生　徒

- ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）にそった取り組みを行います。
- 持ち物には記名をします。
- 清掃時には、バケツを使用し、照明のスイッチを切ります。
- 花の水やりには、雨水を活用します。
- 江津湖の清掃活動に参加し、地域に貢献するとともに地下水保全に努めます。
- 給食の残食調査をして、残食ゼロに努めます。
- エコキャップを回収し、ワクチンを送ります。
- 書き損じハガキを回収して寄贈します。
- 美化コンクールなどを実施し、熱心な美化活動に努めます。

生　徒

◎SDGs 知名度
　95%以上
◎節電・節水を
　心がけます。
◎物を大切に使います。
◎エコキャップ100kg
　以上集めます。

職　員

- ＳＤＧｓ（持続可能な開発目標）を学ぶ研修会を行い、その目標にそった取り組みを子どもたちと共に行います。
- 授業の中で、ＳＤＧｓの達成を意識した取り組みを実施し、ＥＳＤを推進します。
- 両面印刷や裏紙の再利用で紙の消費量を減らします。
- 職員室の電気やプリンターの消し忘れをなくします。

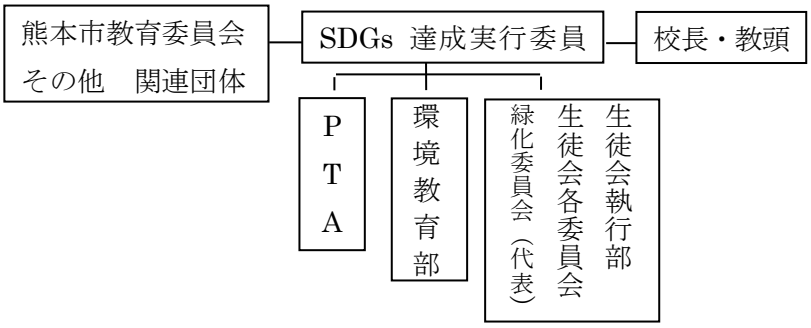
職　員

◎SDGs知名度100%
◎節電に心がけます。
◎紙の使用量を
　減らします。

2　行動

【校内推進体制】

立ち上げ当初は職員有志と緑化委員会からの呼びかけでスタートした。
本年度は生徒会執行部を中心に提案し、実行している。



【具体的な取組（生徒）】

(1) SDGs（持続可能な開発目標）にそった取組

SDGs とは「Sustainable Development Goals」（持続可能な開発目標）の略称で、2015 年 9 月の国連サミットで採択された。国連加盟 193 か国による 2016 年～2030 年の 15 年間の行動計画で、17 の大目標と達成のための具体的な 169 のターゲットから構成されている。このＳＤＧｓと学校で各委員会や生徒会が呼びかけている活動をつなげることで、それぞれで行っていた活動がどんな意味を持っているのかが、わかり易くなると考えられる。また、緑化委員が中心となり、各クラスにお知らせするとともに、委員会活動の中で、自分たちにできることの意見を出し合って、ＳＤＧｓの１７の目標と、自分たちの行っている活動をつなげて考え、右のようなポスターを作製し、各教室に掲示した。また、校内の各所にＳＤＧｓのポスターを掲示し、知名度アップの取組を行った。

委員会の掲示板の緑化委員の場所にＳＤＧｓを掲示して啓発

各教室に掲示。右上の**「出南生ができること」**も掲示されている

昇降口には文化委員会によってＳＤＧｓポスターを掲示

SDGs6・14に関わる取組

(2) バケツを使用

掃除ではバケツを使い、半分の水を入れて使用

(3) 雨水を活用

雨水くんにたまった水を花壇への水やりに活用

(4) 江津湖の清掃活動（3月実施予定）

毎年、三月の第一土曜日の午前中に、江津湖清掃を行っている。（写真は昨年３月のもの）

SDGs2に関わる取組

(5) 残食ゼロを目指した取組

①完食タイムの設定

出水南中学校では、数年前から給食時間の終わり５分を「完食タイム」としている。「５分間給食を食べることに専念しましょう」という放送が流れたら机を前向きに戻し、おしゃべりせずに食事をすることとなっている。

②残暑調査の実施

給食委員の活動として、定期的に残食調査をしている。残食調査の結果は掲示され、期間中残食のなかったクラスに賞状が配られる。

SDGs1に関わる取組

(6) エコキャップを回収

集めて途上国へワクチンを送る。

SDGs10に関わる取組

(7) 書き損じハガキ回収

視覚障害のある方へ送る。

SDGs13・15に関わる取組

(8) 緑の羽根募金＆種から苗を育て植える

校内の緑化を推進している。

SDGs3・11に関わる取組

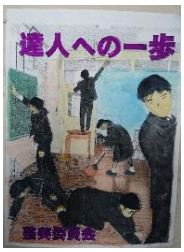
(9) 掃除時間の取組

①美化コンクールの実施

順位	エリア	リーダー	平均値	評価	順位
1	3年4組教室廊下・窓・手洗い場		2.67123	★★★	48
2	3年3組教室		2.66176	★★★	49
3	被服室		2.59677	★★★	50
4	3年3組廊下・手洗い場・窓		2.58974	★★★	51
5	第1校舎2F3年生専用トイレ(女)		2.56757	★★★	52
6	3年5組教室廊下・窓・手洗い場		2.55714	★★★	53
7	トイレ前～無段前の廊下		2.53488	★★★	54
8	実験級2F～1F		2.5122	★★★	55
9	視聴覚教室・生徒食堂・廊下・窓		2.50725	★★★	56
10	楽器保管室前～音楽室廊下・窓～渡り廊下		2.5	★★★	57
11	3年2Fトイレ前廊下		2.48485	★★	58

THE　美音澄（ビネス）という美化コンクールを実施。掃除場所ごとに点数化している。

②ポスター掲示



整美委員会の生徒によるポスター作製と掲示

③最初と最後の挨拶

最初に出席確認をし、最後は２分前の音楽で掃除を終えて反省会をしている。

④掃除オリエンテーション

年度初めに掃除道具の使い方や掃除の仕方のオリエンテーションを全校で行う。

【具体的な取組（職員）】

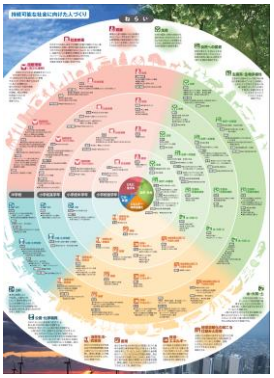
SDGs＆ESDについて知る取組

(1) 研修会の実施と全職員での取組

職員会議においてＳＤＧｓとＥＳＤについて、その内容と、新学習指導要領での扱いについて全職員で学ぶ時間をとった。また、ＳＤＧｓのポスターとＥＳＤマンダラ（持続可能な社会に向けた人づくり）を印刷室に掲示し、いつでも見られるようにしている。

SDGs4に関わる取組

(2) SDGsの達成を意識した取組、ESDを推進



持続可能な社会に向けた人づくりの右図を全職員に配布した。職員にインタビューし、授業の中でＥＳＤに関する内容にどのようなものかを聞き取りしつつ、ＥＳＤカレンダーの作成を目指している。

SDGs12・13・15 に関わる取組

(3) 整美委員の取組

ごみ収集の日に集めたごみチェックをし、名刺サイズ以上の紙が入っていないかをチェックして、結果を放送で知らせている。その結果、紙の混入がなくなり、ごみのとの分別をきちんと行って、資源としてリサイクルすることができた。

SDGs12に関わる取組

(4) 給食での取組

毎年、れんげ学級の生徒を中心に、校内で種から育てて植え、収穫した野菜を給食に入れたメニューを提供している。

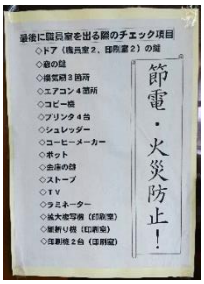
SDGs12に関わる取組

(5) 家庭科の授業での取組

夏休みの宿題で、希望者対象に着なくなった衣服をリメイクして何かを作るという課題を出された。子どもたちは様々な作品を作っている。

SDGs7関わる取組

(6) 職員室のプリンターや電気の消し忘れをなくす



職員室のドアにチェック項目のポスターを掲示し、職員室を出るときのチェック項目が分かりやすいよう工夫している。

3 記録

ＳＤＧｓとＥＳＤの知名度は 100 を％達成できた。数値目標に掲げたエコキャップは目標の 100kg を超えた 115 kg が集まり、途上国へワクチンを届ける活動に貢献できた。また、緑の羽根募金では、昨年の 39,732 円を上回る 47,307 円が集まり、校内緑化の推進ができた。書き損じはがきは 721 枚回収ができた。職員の目標であった紙の使用量減については課題が見られ（表１）紙の使用枚数が４月～12 月で比較すると 68,500 枚増となった。校務支援システムを利用して共有して、紙の文書の削減に努めているが、個人情報保護などの観点から、紙の裏面利用を現在中止していることが原因だと考えられる。電気代については、電気料金の基準の変更があったため、電気使用量で比較したところ、平成 30 年度の４～10 月は 150,692kWh だったが、令和元年度の４～10 月 134,765kWh であった。結果 15,927kWh 減となり、本年度の目標はおおむね達成できた。

表１　紙の使用枚数

	H30 年度 4～12 月	R 元年度 4～12 月
A4	422,500 枚	521,000 枚
A3	0 枚	3,500 枚
B5	45,000 枚	47,500 枚
B4	137,500 枚	101,500 枚
計	605,000 枚	673,500 枚

4 見直し（成果と課題）

ＳＤＧｓとＥＳＤの知名率は、校内では１００％を達成できた。高校入試の問題に SDGs が出題されたり、熊本市が SDGs 未来都市に選定されたりしたこともあり、市民の認知度も上がってきたので、学校現場でも、更に学びを深める機会を作っていきたい。学校で行っている活動を、ＳＤＧｓとつなげて考えることが、すべての問題が繋がっているという部分の理解を深めるのにも役立つと感じた。

ＳＤＧｓと紐づけた取組を始めて３年。学校のさまざまな活動が、持続可能な世界を創ることに繋がっているということが可視化でき、本年度は更に、生徒会執行部や委員会の委員長によって、各委員会の活動と SDGs とのつながりを一覧にして、それも合わせて全ての教室に掲示できたのは大きな一歩であった。その成果もあってか、数値目標もおおむね達成することができ、各教科での取組にも繋げて考えていくことができた。今後も、さまざまな部分で、取組の成果を出せるように学校全体で取り組んでいきたい。

生徒会活動 と SDGs（持続可能な開発目標）

生徒会活動は、SDGsの達成にも貢献しています。
みんなで力を合わせて頑張っていきましょう！

生徒会	活動内容	SDGsとのつながり
生徒会執行部	生徒総会・生徒議会	17
	エコキャップ回収	1・3・13
	書き損じ葉書回収	10・13
	ユニセフ募金	1
学級	学級会の司会 学級をまとめる	17
生活	二分の努力	4
	置き勉チェック	4・12
	傘への記名	12・13
文化	ポスター掲示	4
	中体連応援パネル	17
	絵画コンクール	17
体育	授業の連絡・呼びかけ 体力向上イベント	3・4
整美	掃除の呼びかけ	3
	バケツの使用	6
	リサイクル（紙の分別）	13
	美化コンクール	17
図書	しおりコンクール カウンター当番	4
安全	避難訓練 自転車点検 右側通行	11
緑化	緑の羽根募金 花壇の手入れ	6・13 14・15
給食	残食調査	2・3・13
保健	清潔チェック 換気呼びかけ 健康観察	3
放送	校内放送	17
	給食時間の放送	2・4

出水南中学校　生徒会作成